

演習資料

*講師の指示に従って該当ページをご覧ください。

演習 1

事例情報その1

自治会長が地域包括支援センターを訪ねてきて、以下を話し始めました。

- ① 「高齢者の相談窓口」だと言われたから来た。
- ② 近隣住民から「Aさんの家の臭いがひどい」と苦情が入った。
- ③ Aさんの家の悪臭についての住民からの訴えは初めて聞いた。
- ④ Aさんは娘と二人暮らし。
- ⑤ 家のドアの前まで行ってみたが、確かに、物が腐ったような臭いがきつい。
- ⑥ 自分はたまに見かけて挨拶をする程度の付き合い。最近は、全く交流がなかった。
- ⑦ 親しい人と訪問しようと思ったが、自治会加入者の中に親しい人はいないようで、まだ訪問してはいない。

<ワーク1-1 通報受付のワーク>

自治会長から詳しい話を聞きます。

ワークシート1 (p.1)「通報受付(情報提供者からの聴き取り)シート」を使って、聞き取りを行いましょう。

ワークシート1	
通報受付(情報提供者からの聴き取り)シート	
<p>聴き取り時の姿勢を確認</p> <p>①③の でき 「 「 通報 通報 使わ オー ドク ドク</p> <p>②確認する項目</p> <p>◆高齢者について <input type="checkbox"/>氏名 <input type="checkbox"/>年齢 <input type="checkbox"/>性別 <input type="checkbox"/>どこにいるか <input type="checkbox"/>連絡先 <input type="checkbox"/>家族等の状況 (同居/別居) <input type="checkbox"/>心身の状況 <input type="checkbox"/>疾患・障害 <input type="checkbox"/>要介護度等、介護の必要な状況 <input type="checkbox"/>医療を緊急で必要とするような状況がある(と思う)か <input type="checkbox"/>判断能力 <input type="checkbox"/>生活状況 <input type="checkbox"/>本人の ◆養護者 <input type="checkbox"/>本人と <input type="checkbox"/>心身の <input type="checkbox"/>養護者 <input type="checkbox"/>虐待 <input type="checkbox"/>虐待 ◆世帯に <input type="checkbox"/>世帯 <input type="checkbox"/>関係性 <input type="checkbox"/>住まい <input type="checkbox"/>住まい <input type="checkbox"/>虐待に <input type="checkbox"/>具体 <input type="checkbox"/>けが <input type="checkbox"/>いつか <input type="checkbox"/>発生する時間 <input type="checkbox"/>発生する <input type="checkbox"/>見聞きしたのは初めての <input type="checkbox"/> (繰り返しされていた場合) 一番最近の状況 <input type="checkbox"/> (繰り返しされていた場合) 一番ひどい状況 ◆他の家族、関係者について <input type="checkbox"/>別の親族 <input type="checkbox"/>関係者・機関 (途絶えたものも含む) <input type="checkbox"/>世帯に影響のある人・機関とその関係性 <input type="checkbox"/>どうやったら連絡がとれるか ◆今後の事実確認調査の訪問、面接のための情報 <input type="checkbox"/>高齢者に面接できる場所、時間帯、外出の有無 <input type="checkbox"/>養護者に面接できる場所、時間帯、外出の有無 ◆通報者(情報提供者)から聞き取ること <input type="checkbox"/>氏名(匿名でも可) <input type="checkbox"/>関係性 <input type="checkbox"/>直接見聞きしたのか、また聞きか <input type="checkbox"/>今回の連絡の理由 <input type="checkbox"/>他に、この事実を知っている人物・関係機関の有無</p>	<p>① 最初に、情報提供者に伝えること</p> <p><input type="checkbox"/> 話 <input type="checkbox"/> 詳 <input type="checkbox"/> 簡 <input type="checkbox"/> 明 <input type="checkbox"/> 不 <input type="checkbox"/> 通 <input type="checkbox"/> 今 ださ</p> <p>メモ欄</p> <p>②' メモ欄</p> <p>情報提供者の話を自由にメモしつつ、②で確認した項目について追加情報等を書き取っていきます。</p> <p>③最後に</p> <p><input type="checkbox"/>希望 <input type="checkbox"/>不安 <input type="checkbox"/>聞き <input type="checkbox"/>他に <input type="checkbox"/>思い出 <input type="checkbox"/>連絡先 <input type="checkbox"/>こちら</p>
<p>聴き取り時の姿勢を確認 します。</p>	<p>① 最初に、情報提供者に伝えること 情報提供者に伝えたら☑をします。</p>
<p>② 確認する項目 聴き取れた項目に☑を しながら、何を聴きと るかを考えます。</p>	<p>②' メモ欄 情報提供者の話を自由にメモしつつ、②で確認 した項目について追加情報等を書き取っていき ます。</p>
	<p>③最後に必ず確認すること・伝えること 情報提供者に伝えたら☑をします。</p>

<自治会長からの追加情報>

- ⑧ Aさんは女性、災害時要援護者の名簿登録されておらず年齢不明だが80代くらい。
- ⑨ 公営住宅の6階に40年くらい前から住んでいるらしい。
- ⑩ 夫は他界しており、娘は40代~50代くらい。
- ⑪ 自分が自治会に関わるようになってから、自治会の集まりには出てきたことがない。
- ⑫ 以前は、本人と娘で買い物に行っていた。最近は見かけない。
- ⑬ Aさんとは挨拶をするが、娘は、こちらが挨拶をしても母の陰に隠れてこちらをチラリとみるだけで、返答はしない。母を頼って生活している感じがする。
- ⑭ 数か月前に、自治会の「見守り隊」の住民がゴミ出しについて娘に注意したと聞いている。
- ⑮ 隣人から、「『死ね!死ね!』と言うような怒鳴り声が時々聞こえている。多分娘だと思う。」と聞いているので心配だ。
- ⑯ 隣人は、3年前に転入してきた人で、Aさん宅と個人的な付き合いはないとのこと。

<ワーク1-2 通報受付後のワーク>

① **ワークシート2** (p.3)「**事実情報の整理シート**」の右側を記入してみましょう。

**<高齢者虐待発生時に
みられるサイン>**

聴き取りの内容から把握したサインについて、該当する項目を○で囲みます。
(サインはすでに記入済みです)

<高齢者虐待の具体的な行為・状況>

サインから考えられる具体的な行為や状況に☑をします(可能性で考えて☑してOK)。
一番下の「根拠」の欄の該当する番号に○をつけます。

ワークシート3 (p.5)「**高齢者虐待対応における緊急保護・緊急対応が必要な状況例**」を記入してみましょう。

また、右側の深刻度のフローを参考にして、右下に、今の時点で想定される「深刻度」を記入しましょう。

② 左側の欄に△等を記入する

① 右側の状況の欄に☑がいたら、左側へ

<ワーク2 事実確認前の協議のワーク>

ワークシート4 (p.7)「事実確認(訪問・面接調査)前の協議シート」を記入してみましょう。

ワークシート4 事実確認(訪問・面接調査)前の協議シート

本人	養護者や他の親族
<input type="checkbox"/> バイタルチェック <input type="checkbox"/> 体調の不良 <input type="checkbox"/> 慢性疾患 <input type="checkbox"/> 服薬状況 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 傷・怪 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> 現状把握 <input type="checkbox"/> 判断能 <input type="checkbox"/> 生活歴 <input type="checkbox"/> 支援の <input type="checkbox"/> 困りご <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者本人の最近の変化 <input type="checkbox"/> 本人の認知症の症状(知覚・上り下り方)
※安全・安否確認は必須 生じうる危険/危険に対応するためにその場で行う可能性のあること	
訪問理由 訪問方法/訪問 訪問するメンバー 持っていくもの <input type="checkbox"/> 血圧計 <input type="checkbox"/> 聴診器 <input type="checkbox"/> その他()	
緊急時の連絡方法・ <input type="checkbox"/> 電話(誰に)	

ワークシート2「事実情報の整理シート」の記入例をもとに、「考えられる可能性」について記入済みです。

<包括内・庁内情報の収集>
 「考えられる可能性」をもとに、どのような包括内・庁内情報を、誰がどうやっていつまでに収集するかを考えます。

<関係者・関係機関からの情報収集>
 「考えられる可能性」をもとに、どのような機関から、どのような情報を、誰が、どうやっていつまでに収集するかを考えます。

<面接で確認すること>
 「考えられる可能性」をもとに、面接で確認したいこと(確認すべきこと)を箇条書きにします。

「考えられる可能性」や「面接で確認すること」をもとに、訪問計画を立てます。

(公社)日本社会福祉士会「B 型」情報収集依頼項目を参考に(公社)あい権利擁護支援ネットにて作成したものを高齢者権利擁護支援センターで編集(令和5年4月版)を、(一社)権利擁護支援プロジェクトもすにて改変

まず、左側を記入します。

講義、解説の後、右側を記入します。

事例情報その2

地域包括支援センター内の協議、市と地域包括支援センターとの協議の中で、以下の判断がありました。

- ① 心理的虐待の可能性がある。
- ② 自宅内が不衛生な状況になっているネグレクトの可能性ある。ネグレクトの背景に、セルフ・ネグレクトが生じている可能性がある。
- ③ 本人含めた世帯二人の姿を見ている人がおらず、体調が悪く寝込んでいたり室内で倒れていたりする可能性があり、救急車を呼ぶ等の緊急対応を行うことも考えられる。
- ④ 包括職員が身分証明書や包括のリーフレットの準備もして訪問する。
- ⑤ 包括職員2名で訪問、緊急時は役所に電話連絡。市の担当者は、役所で報告を待つ。
- ⑥ コアメンバー会議は本日、訪問終了後に開催予定。

庁内情報の確認や関係者・関係機関からの聴き取りを行った結果、以下が確認されました。

- ⑦ 民生委員、交番に情報なし。
- ⑧ 地域包括支援センターにも市にも相談履歴はなく、介護申請もされていない。
- ⑨ 住民基本台帳の情報では、Aさん80歳とBさん50歳の2人世帯。
(以下は、訪問前までには情報収集間に合わず、訪問中、訪問後に把握)
- ⑩ 介護保険料、医療保険料の未納はなし。半年前から受診歴なし。
- ⑪ 保健センター関与なし。生活保護受給・相談履歴なし、生活困窮者相談窓口の相談履歴なし。
- ⑫ Bさんの障害者手帳所持なし、相談履歴なし。
- ⑬ 税の滞納なし。
- ⑭ Aさんの国民年金 約5万円／月あり。

訪問

看護師と社会福祉士の2名で訪問しました。

Aさん宅が近くになると鼻をつく臭いがしており、玄関前に立つとマスク越しでも臭うほどでした。玄関横の台所の窓が開いており、「ママ! ダメでしょ! いい加減にしないよ!」と大きな声が聞こえており、在宅していることわかりました。

チャイムを鳴らしたところ、台所窓からBさんと思われる女性が顔を出したのでアプローチを試みました。「こんにちは」「市より参りました」と伝えても視線を合わせることはなく違うところを見ており、戸惑ったような表情でじっと黙っています。再度、社会福祉士が「地域包括支援センターの〇〇と言います。お話聞かせてください。」と声をかけると視線をそらしたまま、小さな声で「誰? 誰?」「知らない、知らない」「知らない人は開けちゃダメ」とつぶやいています。

「ママがダメって言うから」と拒否がありましたが、包括職員は「私達、お母さんとBさんの味方ですよ。市役所の依頼で高齢者のいるお宅に訪問する仕事をしているんです。」「皆さんのお話を聞く仕事をしています。玄関を開けてもらえますか?」と繰り返し説明しました。

職員が機転をきかせて「答えていただいた方に、このシールをお渡ししています」と市のキャラクターのシールをみせたところ、Bさんは興味を示し「それちょうだい」と窓からシールを受け取りました。そして、一度奥で寝ているAさんのところへ行き、何やら話をしてから、ドアを開けて部屋の中に入れてくれました。

奥の部屋に寝ているAさんのところに挨拶に行くと、Aさんはびっくりした様子です。Aさんが寝ている周りを含めて、室内にはゴミ袋が積みあがっています。布団から出ている腕や手の甲に赤、青、黒、黄色の内出血痕が見えました。顔色は驚くほど悪く、唇はカサカサしています。

<ワーク3 事実確認のワーク(訪問調査中)>

事実確認中の今の状況を記入したのが、シート5、シート6です。

シート5 (p.10)「事実情報の整理シート」、シート6 (p.12)「高齢者虐待対応における緊急保護・緊急対応が必要な状況例」、右下の「深刻度」の記入例を確認します。

事例情報その3

当初の役割分担どおり、看護師は本人Aさんから、社会福祉士はBさんから話を聞きました。

奥の部屋にいたAさんの話・様子

- ① 耳が遠いのか近くで声をかけたところ、「どちら様ですか」とびっくりした様子。
- ② 痩せており、起き上がり動作に時間かかっている。
- ③ 「何ですか?」「帰ってください、いいですから」と質問に対して拒否的。
- ④ 身分証明書を見せて、「市から来ました」ということを説明。バイタルチェックや体の確認を実施。体が細くなったようで、皮膚がカサカサしており唇も渇き気味になっていること確認。
- ⑤ 手の甲や腕に赤いもの、黄色いものや青いものなど幾つもの内出血痕を確認。痛むかを尋ねると「別に・・・」という返事。内出血痕が出来た原因を尋ねたが、「さあ・・・」と、黙ってしまう。
- ⑥ 立ち上がりはふらふらしており、移動には支えが必要。
- ⑦ 娘Bさんについて「私がいなくてダメなんですよ」「何もできない」「しょうがないんです」と話す。

Bさんの話・様子

<Bさん自身のこと>

- ① ちらちら母親の方を気にしながら話す様子あり。
- ② 「パパ、死んじゃった。」「ママだけ(兄弟はいない)」
- ③ 買い物は自分が行っていることと、パンや揚げ物・お菓子が好きで食べていると話す。
- ④ 家の中に積み上がっているゴミ袋について、「おばちゃん、怒るから。怖い(から出していない)。」とのこと。
- ⑤ 「暑くて嫌」

<Bさんから聞いたAさんのこと>

- ① 「最近、(ママは)あまり食べない。」
- ② おもらししたり、ご飯をこぼす(だから)、「お仕置き」している(つねっているジェスチャー)。
- ③ 前のように買い物の仕方やゴミの整理の仕方などを教えてくれなくなったとのこと。

<二人で生活していることについて>

- 「ママが教えてくれない。わからないこと、ばかり。」
- 「叱られるの、やだ」

自宅の状況

- ① 生ごみ・惣菜パックが袋に入った状態でそのまま。
- ② 冬物の衣類が部屋の隅で山となっている。
- ③ 扇風機は見当たらず、エアコンはあるがついておらず、自宅内の気温が高い(リモコンを探す周辺には見当たらない)

- ④ しわしわの洗濯物が少量、室内に干されており、着替えや洗面など最低限の身の回りのことはなんとか行おうとしている様子。
- ⑤ 小銭が大量にあり、袋や缶に入った状態でおいてある。

今日の支援

まず、Aさんへの水分摂取を支援しました。さらに、Aさんの心拍数が少なく、皮膚や唇の渴きや立ち上がりがふらふらしていることから、包括職員は、これから病院に行くことを提案しました。Aさんは「自分で行きます。いいです。」「Bと行くから大丈夫ですから。」という返事でしたが、Bさんが「ママ、歩けない。無理無理」と言います。「そしたら、車いす持ってきますよ。Bさん、車いすを押せますか?」と、包括職員が声掛けすると、Bさんからは「知らない知らない、できないよ」という回答です。Aさんはやっと、包括職員介助で行くことを渋々了承しました。

- ① 受診したところ、栄養状態が悪く体重も少ない。新型コロナウイルスやインフルエンザの罹患なし。骨折等もなさそう。医師より、「一泊入院して点滴を受ける方法もある」と提案されるが、Aの「Bを一人にしておけない」「これからも受診するので、帰りたい」という希望より、入院とはならず。
- ② 「胃腸の風邪を引いて二人で寝込んでしまい、家事が出来なくなった。私だけなかなか治らず、だるくてなかなか起きていられない。だんだんと横になっている時間が長くなり、生活が荒れてしまった。」
- ③ 医療機関で長谷川式スケールを実施してもらったところ、15点/30点。ただし、栄養状態が改善してから再検査すれば、数値が上がる可能性がある。脳の検査の結果をみないと、認知症の確定診断はできない。
- ④ 医師の「サービスを受けてしっかりと食事をとるように」という言葉に、Aさんは「わかりました」と回答。
- ⑤ 受診の帰りに、Aさんは「お金をおろしたいので、いいですか?」とATMで現金を引き出し。
- ⑥ 介護保険申請をして、ヘルパーやデイサービスと配食サービスを入れる話をしたところ、了解される。
- ⑦ 「ありがとうございます、連れてきてもらってよかった」「Bのために、早く元気にならなくては」
- ⑧ (今後の生活の希望)「いつまでも元気でいたい。Bを一人残しては逝けない」、(大切にしていること)「Bがご近所に迷惑をかけないよう、私がしっかりしていきたい」

Aさんが医療機関で検査を受けている間に、Bさんと包括職員は、Aさんが口にしやすい食べ物や飲み物を買に行きました。買い物に行く際、包括職員はBさんに、「Aさんの体の具合が心配なこと」、「お仕置きするともっと体の具合が悪くなるため、危ないこと」「青黒くなるのは、体の中で血が出ている状態であること」を説明すると、Bさんはとてもびっくりして「お仕置き、危ないのね」「しちゃダメね、わかった」と頷き、「ママ、早く元気になってほしい」と言いました。

二人を家まで送り、その日出せるゴミ出しの支援をして明日も訪問することを約束してから帰庁、コアメンバー会議を実施しました。

<ワーク4 コアメンバー会議のワーク>

ワークシート7 (p.13「第1回 コアメンバー会議録」の□(太枠囲み)部分を記入してみましょう。

演習2

事例情報その4

第1回コアメンバー会議の後、以下の対応を行いました。

翌日の訪問

翌日、約束どおり包括職員2名で訪問しました。Bは訪問をととても喜んでドアを開けてくれました。Aは、前日よりも顔色が良く、心拍数も上がっていました。特に内出血痕が増えていることもありませんでした。

Aとの面談

<財産状況のアセスメント>

- ① 室内の袋や瓶に入れてあった現金をまとめ、金額を確認。今後の管理の方法について確認したところ、「Bが困らないようにしたい」と話すが、具体的な対応方法については応えられない。
- ② 「今後、介護保険サービスを頼むに当たって、ひと月にどのくらいの金額が使えますか？ 経済状況を教えてください」と聞くと、Aは枕の下に入れてあったA名義の通帳を出して開きながら「どのくらいかかるのかしら？」と包括職員に問いかける。通帳には厚生遺族年金の振り込みあり、生活には困らない預金額もあることを確認。
- ③ 自分の体調が悪くなってきた時に、まとまった金額を下ろして、Bにお金を渡して買い物をしてきてもらっていたが、現金が底をついてきてしまっていた、とのこと。「昨日引き出しができてよかった」と。
- ④ A名義の通帳以外に、B名義の通帳があることも現認。「Bさんの名義の預金もあるんですね？」と聞くと、「しっかり取っておかないと、と思って」とのこと。

<Bさんの支援についての提案>

- ⑤ 「Bさんは、お母さんの食事の購入など家のことを頑張ってきて立派な娘さんですね。」「お母さんの思いや、今までのがんばりが、Bさんにしっかり伝わっているんですね。」「Bさんが困らないように、AさんのこともBさんのことも整えていきましょう。」「今までAさんご自身も、お母さんとして大変だったことと思います、私たちにお手伝いさせてください。」と伝えると、Aは涙ぐむ。
- ⑥ 「Bさんの生活を手伝ってくれる人をお願いするための検査…知能検査というのですが、必要だと思います、こちらで同行支援したいのですが、いかがですか？」と提案すると、「あの子が学校に行っている頃から、先生からも何度も言われて、私もそう思っていた。主人がどうしても、(検査することを)許してくれなかった」と涙をこぼした。
- ⑦ 「失礼かもしれませんが、Bさんの小学校・中学校時代に成績はいかがでしたか？通知表等がしまっただけだったりしますか？」と尋ねると、押し入れの上の方のボックスにすべて入っていることを教えてくれた。確認すると、すべて大切に保存してあった。

Bとの面談

- ⑧ 家から出るときは常に両親のどちらかが一緒に、他の人と話してはダメと言われてきたとのこと。
- ⑨ 「Bさんの暮らしのお手伝いをしてくれる人をお願いするための検査のために、病院に行きませんか？ ママは『Bさんに行ってきてほしい』と言っています」と伝えると、「ママが言うなら」という返答。

コアメンバーでの評価

訪問後、役所に立ち寄りコアメンバーで話し合いました。食事が取れるようになったこと、脱水が改善され、低栄養状態も改善の兆しがみられることから、支援が入る事で在宅生活の継続ができるだろうと評価。Bさんの知能検査の結果を待ってから、終結に向けた対応について検討することとしました。

事例状況の変化

最初の通報受付から 2 か月が経ちました。Aさんは要介護2(ラクナ梗塞認知症という診断)となり、ホームヘルプサービスと訪問看護を受けています。入浴のためのデイサービスを提案しましたが、「Bを一人にできない」と言って受け入れることはありませんでした。

サービス利用時の抵抗はなく、職員とのコミュニケーションも良好です。Aさんの栄養状態が改善されたことにより、若干、右手の動きが悪いものの全体の動きはスムーズになり、失禁はほとんどなくなりました。世帯の金銭管理もしっかりと出来ている様子です。長谷川式スケールを実施してみると、23点でした。

Bさんの知能検査の受診を支援し、知的障害福祉担当部署に小学校・中学校の通知表の写しを渡したところ、知的障害福祉担当部署が手帳申請の支援を引継ぎ、愛の手帳3度となりました。

<ヘルパーや訪問看護師が把握している様子>

- ① Aさんの状態改善により、AさんがBさんを激しく叱責する場面が目立ってきました。Bさんが買い物から帰ってくると「黙って外に出ちゃダメでしょ」「こんな無駄なものを買って」「どうして言われたとおりに買ってこないの!」と、激しく長々と叱責します。
- ② Bさんがヘルパーや訪問看護師、包括職員に話しかけていると、「あっちにいきなさい!邪魔になるから!」と言います。
- ③ ヘルパーや訪問看護師が見ていない時にはつねっているようで、Bさんの手の甲や腕には、内出血痕が多数出現、目立つようになりました。
- ④ Bさんの不満は溜まり、Aさんの激しい叱責が続くと「うるさい!死ね!死ね!」と大声で怒鳴り、手足をバタバタさせてそっくり返って泣いています。
- ⑤ あまりに激しく泣いていると、Aさんがつねるか叩くかして、泣き止ませているようです。

<Aさんからの聞き取り>

- ⑥ 「Bは、いろんな人が来るから調子にのってしまって。迷惑をかけないようにしないと、Bのためにならないから」
- ⑦ 「大声で泣いたりわめいたりして、みっともない。ご近所迷惑」
- ⑧ 「覚えが悪いから、体で教えてないとダメなんです」
- ⑨ 人が出入りするようになったことで、より一層BさんをしつづければいけないというAさんの意識が強まっているように、包括職員は感じました。
- ⑩ 包括職員が「最近、脳のメカニズムの解明でわかったことなんですけど、お仕置きのように、体に痛みを与えても、『痛い』という記憶が残るだけで、何を叱られたかは記憶できないそうですよ」と伝えると、Aさんは「え?」と驚いた顔をしていました。

<Bさんからの聞き取り>

- ⑪ 「ママだけ、お姉さんたちと話してる!ずるい!」
- ⑫ 「外に行きたい」
- ⑬ 「お仕置きは危ないからダメなのに、私にお仕置きする」

- ⑭ 包括職員が、「お仕置きを我慢できていることは、すごいことです。Bさんはお母さんに優しいですね」と伝えると、嬉しそうにしています。
- ⑮ 「ママの体は良くなっている最中だから、お仕置きはやっぱり危ないんです」と説明すると「わかった。私優しいから、お仕置きしない」と言います。
- ⑯ 「ママに元気になってほしいですか？」と聞くと、「元気になってほしい!」と言います。
- ⑰ 「ママがBさんに『死ね!』って言うことがありますか？」と聞くと、「ママは言わない。パパ(が言っていた)」という返事でした。
- ⑱ 以前よりも人との交流の機会が増えたためか、言葉の表現が豊かになっていると、包括職員は感じました。

コアメンバー会議

事実確認後、高齢福祉課、地域包括支援センターによるコアメンバー会議を開催しました。

<高齢者虐待の状況> Bさんは、Aさんのために買い物や洗濯などを行っている養護者

- ① ネグレクトは解消、体調不良という緊急性は下がった
- ② 心理的虐待は継続、以前より激しくなっている
- ③ 身体的虐待が継続しているかどうかは不明だが、今のようにAさんがBさんを激しく叱責し続けると、再発(暴発)の可能性が高い

<障害者虐待の状況> Aさんは、Bさんの金銭管理を行っている養護者

- ④ 身体的虐待、心理的虐待が以前から生じていると思われ、最近は頻度が増していると思われる
- ⑤ AからBへの障害者虐待として、障害者虐待防止センターへ通報する

<今後の方針>

- ⑥ 2人の密着した状況が虐待を生んでいるため、支援の輪を広げる必要があると判断
- ⑦ 今後の支援について虐待対応ケース会議を開催し、「情報共有」と「支援計画作成」を行うことにした

<ワーク5 虐待対応ケース会議による見立て>

次のメンバーを召集して虐待対応ケース会議を行っています。これから、このケースの状況についてメンバーと「情報共有」を行い、「支援計画」について具体的に話し合いをします。

メンバー

ケアマネジャー
 ホームヘルパー
 ヘルパー事業所のサービス提供責任者
 訪問看護師
 知的障害福祉担当職員(障害者虐待防止センターを兼務)
 障害の相談支援事業所(Bさんのサービス利用について関わってもらいたい)
 社協の中核機関の担当職員(Bさんの障害年金申請や金銭管理の支援について検討)

ワークシート8 (p.15)「事例分析シート」の左側を確認し、右側を記入しましょう。

ワークシート8		事例分析シート		
現在の虐待の判断状況	緊急性の判断状況	高齢者本人の状況	家族・親族の状況	地域性・世帯の状況
<p>「現在の虐待の判断状況」 「緊急性の判断状況」 は記入済みです。 「ジェノグラム・エコマップでの事例状況のまとめ」 「時系列での事例状況のまとめ」は映写します。</p>		<p>「地域・支援者の強み」の部分だけ、記入してあります。 それ以外の欄を記入してみましょう。</p>		
		<p>目的の不適切な対応により、目的達成が困難な場合がある。 目的がこぼれやすくなるなどにより、目的達成に障害がある可能性がある。</p>		

<ワーク6 虐待対応ケース会議による支援計画立案>

ケース会議では、事例分析を行い、虐待の要因や強みに働きかけていく支援計画を立てよう、と話し合いました。

ワークシート9 (p.17)「課題分析&支援課題整理シート」の下半分を記入してみましょう。

上半分は、ワークシート8の記入例(p.16)を参考に、すでに記入してあります。

これから3週間後までの支援計画を立てます。

課題分析・支援課題整理シート

(背景・要因/強み)	(虐待の事実)	(結 果)
＜本人側の背景・要因＞	＜どのような虐待があると思われるか＞	＜生じていること/サインとして現れていること＞
<p>上半分は、すでに記入してあります。</p>		
いつまでの計画か？		
年 月 日		
支援内容	支援を実施した場合に予測される事象	左欄への対応策
優先順	役割分担	担当
当面の目標		
支援課題を縦に記入します	<p>課題ごとに、優先順位を除いて横に記入します。</p> <p>記入例として、1つの課題だけ、記入済みです。</p>	

(公財)東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター作成 R6年4月版

支援計画は、おおむねその通りに実行することができました。

安全プランのその後

Aさんの「お仕置き」は解消、「どうして」「いい加減にしないで」と言う言葉が口をついて出そうになった時(出てしまった時)には、深呼吸をすることが続けられているため、Bさんを長時間叱り続けることは無くなりました。

Bさんが泣きなくなった時は、「台所で水を飲んで、飴を舐めるようにする」というプランは、なかなか成功していません。ただ、AさんがBさんが泣きそうな時点で叱り続けることをストップできるようになったため、「死ね!死ね!」と泣きわめくことは無くなりました。

その後の様子

AさんがBさんを叱ることが完全になくなることはありませんが、表現が柔らかくなり、短くなりました。Aさんは、グループホームや就労継続支援B型の見学をした際、「いろんな人がいるのね」「助けてくれる人もいるのね」と話していました。

Bさんは就労継続支援B型で他者との交流が生まれ、孤立が解消されました。「仕事ができて嬉しい」「みんなと話すことって楽しい」などと話し、年配者の世話を焼こうともしており、「自分にもできることがある」と自信をつけてきています。障害年金の申請も済み、地域福祉権利擁護事業の職員のサポートを受けながら、「自分なりのお金の使い方」を身につけています。

Aさんからは「Bが心配でこのまま死にきれない」「一人残していけない」「Bはいずれはどこかに(グループホーム)入るんだろうけど、私にはこの子しかいない」「まだまだ教えられていないこともある、できるだけ一緒にいたい」という矛盾した思いが聞かれました。相談支援事業所は、BさんとAさんのタイミングを見ながら、Bさんのグループホーム利用についても、提案していく予定です。

見守り隊による「今日は可燃ごみの日、赤い袋の日だよ!」などのゴミ出しの声かけも、うまく入っていて、Bさんは「はい!赤い袋の日」と復唱してゴミを捨てに行っています。見守り隊の人と普段から挨拶ができるようになりました。

終結

状況確認後、高齢福祉課、障害者福祉課、地域包括支援センターによる合同コアメンバー会議を開催しました。

<虐待の解消の確認>

Bさんからの「死ね死ね!」と怒鳴る心理的虐待…解消

AさんがBさんをつねる身体的虐待…解消

<要因の解消の確認>

Aさんの「迷惑をかけてはいけない」という思い…Bさんが泣きわめくことも少なくなった。近隣との交流によって薄らいできた

Bさんの孤立…就労継続支援B型の利用により解消

二人きりの生活…AさんBさんそれぞれがサービスを利用

地域との交流…見守り隊が、「ゴミ出しの日だよ」と声をかけるようになり、交流のきっかけが生まれた

コアメンバー会議で、上記のことから、Aさんの高齢者虐待対応を終結することを決定しました。ケアマネジャーも相談支援事業所も安定して世帯に関与していることから、包括的継続的ケアマネジメント支援としても関わらずに終結することとしました。

そして、コアメンバー会議で決定した終結の判断について虐待対応ケース会議で報告を行い、今後の関係者の関わり方や役割分担、今後も高齢者虐待の再発が見られたら通報をすることを確認しました。